

# 原発の町を追われて

松江上映会

～避難民・双葉町の記録～

「生まれたところで死にたいと思う、  
それはできないと思うけどね」



上映後、制作者の「堀切さとみ」さんのお話も  
あります。双葉町の最新情報をお聞きします。

日時：2014年 **6月21日** (土)

映画上映 ①10:00～ ②13:30～ ③16:00～

トーク・交流会 ①11:30～ ②15:00～ ③17:30～

「原発の町を追われて」2012年/56分・「続・原発の町を追われて」2013年/26分 ◆制作・編集・ナレーション：堀切さとみ

◆ところ：松江市市民活動センター（スティックビル）5F 504号室

◆入場料：500円（震災避難の方は無料）

◆主催：「鳥根原発3号機の運転をやめさせる訴訟の会」

映画「原発の町を追われて」上映実行委員会・松江キネマ倶楽部

◆お問い合わせ：☎ 090-3372-5685（阪本）090-4800-7543（山本・夜間のみ）

# 30km圏内をゴーストタウンに...

## 46万人の避難計画は絵に描いた餅!

原発が重大な事故を起こすのは、大きな地震発生などによる可能性が一番高いのではないのでしょうか。

想像してみてください!

道路はいたるところで寸断され、がけは崩れ、

もしかしたら、倒壊した家屋の下には、

助け出さなければならない大切な人がいませんか?

福島原発から20km内の南相馬市では、事故が起きた

3月11日の午後5時40分頃には平常時の16倍の

毎時0.82 $\mu$ シーベルトが計測されていました。

原発の敷地では、もっと高い放射線で

汚染されていたに違いありません。

事故からおよそ3時間が経過していました。

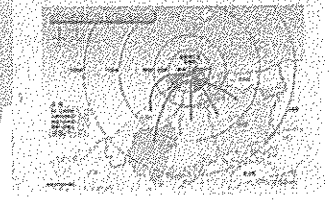
5km圏内の皆さん!

こんな時間で、家族全員で

無事に避難を開始することができるでしょうか?

30km圏内の皆さん!

被曝は避けられないのではないのでしょうか。

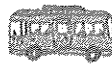


5km圏内住民は

炉心を冷やすための水が漏れ出したり、冷却ができないう状態となつてから避難準備を始め、数時間内に避難することになっています。

30km圏内住民は

5km圏内住民の避難が完了してから、順次避難することになりますが、避難を判断する基準として毎時500 $\mu$ シーベルトの放射線量を計測することとなっています。



避難のために、バス4,000台から5,000台が必要と試算

福島原発事故では、住民の70%が自家用車で避難し、残りの住民がバスで避難したことから、島根の場合には1台に3人が乗車するものとして試算されています。

しかし、これだけのバスを短時間で調達するのは困難ではないのでしょうか。高専によるシュミレーションでは、原発に近い地域から順番に避難した場合でも、4時間後に渋滞が発生し、ピークは7時間後に迎えることになります。混乱は避けられそうにありません。

支援が必要な高齢者、入院患者、避難車も足りない!

移送することで危険な状態になってしまう人や、患者を搬送するための特別な車両も必要ですが、足りていません。

島根県は、事故後も病院や施設に退避できるよう、放射線から防御するための施設の改修を行っています。

この処置は、支援が必要な人や若い職員を高い放射線量の中に取り残してしまうこととなります。

